

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2007-115146(P2007-115146A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-307888(P2005-307888)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/033 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/033 3 2 0

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 2 2 G

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 9 1 B

G 0 9 G 3/20 6 3 3 L

G 0 9 G 3/34 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月21日(2008.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電磁波を発生する位置指示器により指示された位置を検出する表示一体型位置検出装置であって、

表示セルに信号を供給する複数の並列な基板配線が設けられた表示基板と、
前記信号を発生するドライバを実装し、前記表示基板に接続された中継基板と、
前記基板配線から選択された複数の基板配線について、一対ずつ起電力を検出する検出手段と、

前記選択された複数の基板配線を、前記ドライバと前記検出手段とに切替えて接続する切替手段を実装した切替基板と、

前記表示基板に対して前記切替基板の反対側に配置され、前記選択された複数の基板配線を一対ずつ短絡する短絡手段を実装した短絡基板と、を備え、

前記中継基板は、前記選択された複数の基板配線を前記切替手段に連絡する中継配線を有することを特徴とする表示一体型位置検出装置。

【請求項 2】

同一に形成された複数の前記中継基板が、前記表示基板に接続されていることを特徴とする請求項 1 記載の表示一体型位置検出装置。

【請求項 3】

前記選択された複数の基板配線を、前記中継配線に接続する迂回配線を前記表示基板に設けたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の表示一体型位置検出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の表示一体型位置検出装置は、電磁波を発生する位置指示器により指示された位置を検出する表示一体型位置検出装置であって、表示セルに信号を供給する複数の並列な基板配線が設けられた表示基板と、前記信号を発生するドライバを実装し、前記表示基板に接続された中継基板と、前記基板配線から選択された複数の基板配線について、一対ずつ起電力を検出する検出手段と、前記選択された複数の基板配線を、前記ドライバと前記検出手段とに切替えて接続する切替手段を実装した切替基板と、前記表示基板に対して前記切替基板の反対側に配置され、前記選択された複数の基板配線を一対ずつ短絡する短絡手段を実装した短絡基板とを備える。そして、前記中継基板は、前記選択された複数の基板配線を前記切替手段に連絡する中継配線を有する。